

平成16年度 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール 研究開発実施報告書

茨城県立藤代高等学校

1 研究開発実施期間 平成16年度 ～ 平成18年度 (第1年次)

2 研究開発課題 「積極的に英語を使う生徒を増やすための効果的な指導方法の研究開発
～ 学校全体による実践研究開発への取り組み ～」

3 今年度の研究計画

研究内容	研究方法	研究評価方法
<p>① 「スピーチ」を通してのコミュニケーション能力の向上を目指す研究。 (1～3年次)</p>	<p>(1) 授業におけるスピーチの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌・音読・英文の暗唱を通し、英語らしい音声やリズムの習得をめざす。また、高校生のスピーチコンテストや歴史的に有名なスピーチをビデオで見ながら、スピーチの内容が相手に伝わる音量、速度、態度を実践を通して理解させる。 ・モデルスピーチをとおして、スピーチの構成・内容・原稿の書き方を学ぶ。最初は、'My favorite possession', 'Heart-warming experience'など身近なテーマを選んでスピーチを作成し、ALT による添削指導を受けて発表する。回を追うごとに興味関心の持てる社会的な題材を与え、インターネットや英字新聞などを使って資料の収集を行い、より内容の深いスピーチを作成できるようにする。 ・聞く態度を養うために、話し手の内容をメモしたり、話し手に質問をするなどして内容理解ができているかを確認させる。 <p>(2) 校内スピーチコンテストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回校内スピーチコンテストを実施する。校外のスピーチコンテストへの積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生を対象に、評価は年2回行う。評価シートを作成し、content (内容), delivery (発表態度), pronunciation (発音) の3点を ALT と JTE が5段階で点数をつけ、協議をし評価する。また、話し手、聞き手の両方に質問をし、その様子も評価に加える。その評価シートを生徒達にフィードバックする。 ・スピーチコンテストへの意欲的な参加及び内容を評価する。
<p>② オーラル・コミュニケーションI, ライティングでのオールイングリッシュによる授業展開のための効果的な ALT の活用の研究 (1～3年次)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを作成し、計画的な指導を実践する。 ・ALT とのティーム・ティーチングによる授業展開を積極的に取り入れ、生徒参加型の授業を構築して生徒の興味関心を高める。 ・自分の考えをまとめ、発表し、段階的にディスカッションやディベートできるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストばかりでなく、スピーチ等の活動を多彩な評価基準で、ALT とともに評価する。